

R6 (2024)年度 修士・博士論文

1	修論	秋山知也	将来期待を考慮した電気自動車普及政策の分析
2	修論	馬目蓉子	「作動性」を示す男女に対する特性の認知およびリーダーとしての評価におけるバイアス： 作動性の細分化に基づく検討
3	修論	福山秀平	情報の共有意図と正誤認知に関する実験的研究
4	修論	高橋龍	ネットワークにおける局所的互惠性による協力行動の維持：ネットワーク互惠性モデルの批判的検討
5	修論	隅田莉央	予期後悔が選択行動に及ぼす影響：選択肢の能動的探索に着目して
6	修論	佐藤みちる	道徳的状況における AI からのアドバイスに対する嫌悪感について
7	博論	仲間大輔	専門能力レベルに関する垂直的多様性が職場の協働に与える影響：メンバーの流動性による調整効果の検討

修士論文提出者 6名 / 博士論文提出者 1名 合計7名